

|      |      |      |      |       |
|------|------|------|------|-------|
| 1.95 | 1.20 | 1.40 | 0.85 | -0.30 |
| 1.75 | 1.00 | 1.20 | 0.75 | -0.30 |

パーライト、EL=エキストラライト、  
ト、M=ミディアム、H=ヘビー  
数値：プラスは割増金、マイナス(－)は割引金

数理最適化システム導入  
原油配船計画 作業時間削減

数理最適化モデルシミュテムを導入した。実証試験では、計画立案にかかる作業時間を40%削減できたという。また最適化された配船計画により寄港数削減を実現するなど、年間数億円の規模の輸送コスト削減を見込む。

AI（人工知能）を

活用したシステム開発で知られる、エクサウィザーズ（本社東京都港区）と共同開発した。原油輸送には、需要動向に応じた原油処理計画や在庫状況、原油の性質といった製油所側のニーズに加えて、港や船側の成約条件などを考慮する必要

がある。

時々で異なる条件のもと、熟練の配船担当者豊富な経験値に頼る部分が多く、配船計画の立案には膨大な労力が費やされてきた。導入後は、配船担当者はシステムが立案する配船計画を確認し微修正を行うだけで、効率的に配船計画を作成できる。

海陸を問わず、物流業務の効率化は待ったなしの状況だ。出光は2024年12月に、陸上輸送を担うタンクロ



太陽石油  
B5軽油「販売開始」  
愛知の系列SS皮切り

太陽石油は、系列S向けにバイオディーゼル燃料(BDF)のひとつ「B5軽油」の供給を始めた。サンクスモビリティ新城イン

特定加工業者からB5  
軽油を仕入れ、同SS  
に供給する。同SSで  
は専用のタンクを用意  
し、通常の軽油との混  
油を防ぐ。

を開始した。同社は次世代燃料の普及に向けて、今後もバイオ燃料の本格的な仕入れ・販売に取り組む方針だ。

政府の承認を受けた

「B5軽油」を販売  
する新城インター給  
油所（愛知県新城市）

B5軽油は廃食用油などを精製してつくる「脂肪酸メチルエステル」(FAME)を軽油に5%以下の割合で混合した燃料。通常の軽油と同様にトラックや建設機械、発電機などのディーゼルエンジンで使用でき、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）排出量を削減する。

5月中旬原油CIF  
1.5%下落6万8101円  
3年2カ月前より  
財務省の貿易統計  
旬に前旬比1070  
間速報によると、5月  
(1・5%)下落  
中旬(11〜20日)の円  
た。下落は4旬連  
建て原油CIF価格  
で、2022年3月  
は、総6万8101円  
旬(6万6641円)

以来、3年2カ月ぶりの安値となった。

ドル建てでは、75ドル26セントに2が9セント（2・7%）下がった。円建てと同様に4旬続落し、ロシアのウクライナ武力侵攻前の2021年10月上旬（75ドル85セント）以来の安値だった。米

国の関税政策やOPECプラス有志国の減産、緩和前倒しを受けて、4月の原油市場が軟化した影響とみられる。

・円ドル換算レートは1ギル143円86銭と、1円69銭の円安ドル高。通関数量は429万・1万結だった。

2025年6月10日 燃料油脂新聞 1面

育を灯せ